

平成29年度事業報告について

1 評議員会、理事会の開催状況について

(1) 評議員会

・定時評議員会

日 時	平成29年6月27日(火) 午前10時00分～午前10時30分
場 所	ソフトパークセンタービル3階 304研修室
議 題	第1号議案 平成28年度事業報告及び財務諸表等の承認について 第2号議案 役員の選任について

(2) 理事会

・第1回理事会

日 時	平成29年6月6日(火) 午後1時30分～午後2時52分
場 所	ソフトパークセンタービル3階 300会議室
議 題	第1号議案 平成28年度事業報告について 第2号議案 平成28年度決算について 第3号議案 定時評議員会の開催について 第4号議案 ソフィアホール管理規程の制定について

・第2回理事会

日 時	平成30年3月1日(木) 午前10時00分～午前11時00分
場 所	大分第2ソフィアプラザビル2階 ソフィアホール
議 題	第1号議案 平成29年度補正予算について 第2号議案 平成30年度事業計画について 第3号議案 平成30年度当初予算について 第4号議案 平成30年度資産の運用方針について 第5号議案 契約職員就業規程の改正について

2 平成29年度事業総括について

地域経済を取り巻く環境は、人口減少に伴う国内市場の縮小や人手不足がさらに顕著になるとともに、新興諸国の急速な発展による競争激化など厳しさが増している。一方、情報通信技術の飛躍や旺盛なインバウンド需要を含め海外需要の拡大など、新たなビジネスチャンスも増大している。

県内景気は、基調として緩やかに回復しているものの、1～3月期の国内総生産速報値は9期（2年3か月）ぶりにマイナスに転じるなど、先行きに不安を残している。

今後、県内企業においては収益力を高め着実な成長につなげていくためには、環境の変化に適切に対応し技術革新に取り組むなど、付加価値の向上と新たな販路開拓に力強く取り組んでいくことが求められている。

このような中、当機構が「県民生活の向上と県産業経済の発展に寄与する」という目的を達成するため、29年度を初年度とする第2期中期経営計画に定めた事業戦略に基づき、「地域イノベーションの創出」、「中小企業の経営力の安定・強化」、「多様な人材の育成・確保」など個々の企業ニーズに対応し、様々な取組を行った。

(1) 地域イノベーションの創出

経営革新計画の策定支援や「おおいたスタートアップセンター」による創業の裾野拡大と成長支援などに取り組むとともに、革新的・独創的なノウハウやアイデア等を活用した創業や新分野進出を促進するため、ビジネスプラングランプリを実施した。

また、IoT等革新的技術の促進のためスマートものづくり応援隊事業を実施したほか、技術開発の支援では、地域資源を活用した商品開発に加え、国の戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）において、水素精製デバイスの開発案件など新たに3件が採択を受け、中小企業の技術の高度化を図った。

さらに、農林漁業者の6次産業化、産学官連携や異業種交流による新たな事業展開を推進するとともに、ベトナムなど海外でのビジネスマッチングを支援した。

(2) 中小企業の経営力の安定・強化

県内外企業との取引拡大を図るため、取引斡旋のほか、商談会・展示会への出展支援を実施するとともに、現場改善指導の充実により自動車関連産業への参入促進を図った。

航空機関連産業への参入推進のために、セミナー開催や認証資格の取得促進、トライアル受注の発掘に加え、環境観測衛星の共同開発の支援にも取り組んだ。

さらに、県内中小企業・小規模事業者が抱える様々な課題に対応するため、専門家を派遣するとともに、国、県等の施策の活用支援やBCPの策定支援により企業価値の向上を目指した。「大分県よろず支援拠点」では、幅広い相談対応を行い、29年度は来訪相談者数と課題解決件数で全国5位の実績を残した。

(3) 多様な人材の育成・確保

平成29年度に40周年を迎えたマネジメントスクールをはじめ、県内の中小企業・小規模事業者が必要とする人材を育成するため、営業や生産管理などの実務能力を向上するための研修を実施した。